

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-2-3	事業名	札幌市一般廃棄物処理基本計画の改定	
担当	環境局環境事業部企画課 吉田 211-2912			
全体計画				
事業内容	<p>【平成19年度】 平成17～18年度にかけて開催した札幌市廃棄物減量等推進審議会からの答申を踏まえ、一般廃棄物処理基本計画(以下、「さっぽろごみプラン21」という。)の改定を行う。</p> <p>【平成20年度～】 新たに策定した「スリムシティさっぽろ計画」に基づき、資源化できるものの新たな分別収集や処理施設での検査体制の強化、安定的な処理確保のための施設整備など施策・事業を積極的に展開していくとともに、その進捗状況を外組織によって評価し、さらなる事業の推進に反映する。</p>	<p>&lt;年度別の事業内容&gt;</p> <p>【平成19年度】 一般廃棄物処理基本計画の改定を行う。</p> <p>【平成20年度以降】 新たな計画である「スリムシティさっぽろ計画」に基づき、家庭ごみ有料化と併せてごみ減量・リサイクル施策を実施していく。</p>		
	事業内容	平成19年度事業内容(決算)	平成20年度事業内容(決算)	
事業内容	<p>平成19年3月に出された答申に基づき、札幌市一般廃棄物処理基本計画「スリムシティさっぽろ計画」(素案)を策定し、同年9月に公表した。素案公表後、以下のことを実施し、市民意見を伺った。</p> <p>パブリックコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施期間:平成19年10月22日～平成20年1月21日【90日間】</li> <li>意見件数:473件(意見提出者数:90人)</li> </ul> <p>市民意見交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施期間:平成19年10月11日～平成20年2月10日</li> <li>開催数:223回(各地域:203回、各区民センター20回)</li> <li>参加人数:8,215人</li> <li>意見件数:8,584件(意見提出者数:3,696人)</li> </ul> <p>市民意識調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象者:札幌市全域の20歳以上の男女1,500人(層化2段無作為抽出法)</li> <li>調査期間:平成19年12月6日～12月24日</li> <li>回収数(率):1,184件(78.9%)</li> </ul> <p>これらで寄せられた意見とトークでの発言や「市民の声」で寄せられた意見を踏まえ、計画の内容を変更・追加し、平成20年3月に計画を確定した。</p>	<p>「スリムシティさっぽろ計画」の周知や同計画に掲げた目標の実現に向け、以下の事業などを行った。</p> <p>新たに策定した「スリムシティさっぽろ計画」を印刷・配布し、ごみ排出ルール説明会などの機会をとらえて市民に対し周知を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スリムシティさっぽろ計画本体印刷部数:4,000部</li> <li>スリムシティさっぽろ計画概要版印刷部数:61,500部</li> </ul> <p>21年7月からの新ごみルールの説明会を21年1月から実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ排出ルール説明会総予定開催回数(21.1～21.6):2,500回(予定)</li> <li>20年度ごみ排出ルール説明会開催回数(21.1～21.3):749回(実績)</li> </ul> <p>地区リサイクルセンターの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中央地区リサイクルセンター(11/15開設)、資源物回収量:7,154kg</li> <li>厚別地区リサイクルセンター(1/14開設)、資源物回収量:1,783kg</li> </ul> <p>ごみステーション管理器材購入助成数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネット:8,300件</li> <li>カラスよけサークル:2,400件</li> </ul> <p>リサイクルパートナーシップモデル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加グループ:3団体、348世帯</li> </ul> <p>雑がみ分別収集モデル実験事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世帯:12,000世帯</li> <li>総回収量:32,700kg</li> </ul> <p>さっぽろごみパト隊</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>配置人員:14名(各清掃事務所2名)</li> </ul>		
	事業内容	平成21年度事業内容(予算)	平成22年度事業内容(予算)	
規模	<p>スリムシティさっぽろ計画推進</p> <p>「スリムシティさっぽろ計画」に掲げる施策の確実な実施や目標の達成に向けて、施策の取り組み状況や成果について、外部組織の評価を参考としながら、計画の進行管理を実施し、計画の推進に努めていく。</p> <p>新たなごみルールの開始</p> <p>これまで、ごみ排出ルール説明会において周知を図ってきた、家庭ごみ有料化、雑がみ及び枝・葉・草の分別収集などの新たなごみルールを21年7月から実施し、ごみ減量・リサイクルをさらに推進していく。</p> <p>生ごみリサイクル・パートナーシップ事業</p> <p>町内会など地域グループが自主的に収集・保管した生ごみを市が無料回収し、資源化施設で堆肥化することにより、生ごみの減量・資源化の推進を図る。</p> <p>ステーション管理支援事業費</p> <p>7月からの家庭ごみ有料化に備え、20年10月に14名配置した「さっぽろごみパト隊」を4月に59名、7月には110名に増員する。また、共同住宅のごみステーション設置・管理等に係る制度変更とオーナー・管理会社への分別指導・新築共同住宅の敷地内ステーション設置等の制度変更の周知徹底を図る。</p>			
件数等				

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	4-2-3		事業名	札幌市一般廃棄物処理基本計画の改定			
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
[札幌市一般廃棄物処理基本]計画の改定	-	改定	推進	推進	推進	推進	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 平成21年7月から家庭ごみ有料化を含む新ごみルールがスタートするにあたり、市民への周知を行うため、21年1月からごみ排出ルール説明会を開催しているが、市内全域で2,000回以上もの説明会を開催することは、行政の力のみでは困難であり、町内会などの地域コミュニティと協働のもと、説明会を開催した。 ごみ減量・リサイクル推進に向けた市民協働型のモデル事業として、生ごみリサイクルパートナーシップモデル事業及び雑がみ分別収集モデル事業を実施した。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力]該当なし [人材協力]該当なし [情報協力]該当なし [その他の協力]該当なし</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 町内会や共同住宅単位のほか各種団体から、新ごみルールについて説明会の開催の要望があれば、環境局職員が各地域に赴き、説明会を行った。また、この他各区民センターにおいてごみ排出ルール説明会を開催し、多くの市民が参加できる機会の提供に努めた。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>「スリムシティさっぽろ計画」の冊子と併せて計画の内容をわかりやすくまとめた概要版を作成し、区役所や市政刊行物コーナーなどで配架したほか、地域での会議やタウントーク、ごみ排出ルール説明会などの機会を通じて積極的に配布し、普及・啓発を行った。</p> <p>さまざまな資源物を一度にまとめ出しすることができる回収拠点である地区リサイクルセンターを、中央清掃事務所敷地内(11/15開設)と厚別リユースプラザ(1/14開設)の2カ所に開設した。</p> <p>ごみステーション管理器材であるネット、カラスよけサークルの購入助成を実施した。</p> <p>生ごみリサイクルパートナーシップモデル事業と雑がみ分別収集モデル実験事業を市民と協働で実施した。</p> <p>各清掃事務所に2名づつ計14名の「さっぽろごみパト隊」を配置した。</p>			<p>「スリムシティさっぽろ計画」に掲げた施策を円滑に実施していくために、施策の企画・調整、適切な進行管理、市民との情報共有を確実に実施していかなければならない。</p> <p>また、計画の目標を達成するためには、家庭ごみ有料化などの新ごみルールについて、より一層理解や協力を得て、ごみ減量・リサイクルを促進することが必要であることから、引き続きルールの周知に努めていく必要がある。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>「スリムシティさっぽろ計画」に掲げた施策を確実に実施していくためには、市民・事業者・行政が情報を共有し、協働してごみ減量・リサイクルの推進に努めていかなければならない。このため、同計画の進捗状況やごみ量管理目標の達成状況などについて年次報告書を作成し、これを公表していく。</p> <p>また、家庭ごみ有料化などの新ごみルールについて、より市民の理解や協力を得るため、引き続き周知に努めていく必要がある。</p> <p>21年度の予定としては、7月から家庭ごみの新ごみルールがスタートし、また、同計画の進捗状況などについて客観的な評価を行う札幌市廃棄物減量等推進審議会を設置する予定である。</p>							

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		4-2-3		事業名		札幌市一般廃棄物処理基本計画の改定						
事業費の推移												
項目		19年度		20年度		21年度		22年度		計		
計画	事業費	国・道支出金		-	-	-	-	-	-	-	-	
		市の債										
		その他の他										
		一般財源										
予算	事業費	国・道支出金		6,066	114,810	139,795	-	-	-	260,671	-	
		市の債		0	0	0					0	0
		その他の他		0	60,000	44,800					104,800	
		一般財源		6,066	54,810	94,995					155,871	
実績	事業費	国・道支出金		4,229	115,017	-	-	-	-	119,246	-	
		市の債		0	0					0	0	
		その他の他		0	55,405					55,405		
		一般財源		4,229	59,612					63,841		
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)									-	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)												
(全体)												
[19年度]												
[20年度]												
[21年度]												